

JMOOC 出展

1. 概要

昨今、世界中の教育機関が無償の教育コンテンツをインターネットに公開するなど、教育内容のオープン化が進んできた(Open Course Ware = OCW)。さらにいま、オープンなオンライン講座として双方向の学習修了支援を行う教育サービス(Massive Open Online Courses = MOOC)が注目され、参加大学、学習者ともに世界的な規模で爆発的に急増してきている。そうした状況を背景に、日本版 MOOC の推進主体として 2013 年 10 月に日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)が発足された。

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、広報効果として、その性質から国内のみならずグローバルに本学の知名度を高めることができる。

上記の効果を期待し、本学は 2014 年度から JMOOC に参加し、公認プラットフォームにて 2 講座を開講した。

2. 利用状況

(1). 開講講座情報

本学が開講した 2 講座は以下の通りである。

受講登録者数は 2 講座合計で 10,417 名、修了者数は 1,487 名であった。

- ① 講座名 : 交流文学研究 ～東南アジアへの旅～
講師 : 観光学部 交流文化学科 教授 舛谷鋭
アシスタント : フランス語教育研究室 兼任講師 羽生敦子
開講期間 : 2014 年 10 月 30 日 (木) ～ 2015 年 1 月 8 日 (水)
反転授業 : 11 月 23 日 (日) に本学にて実施

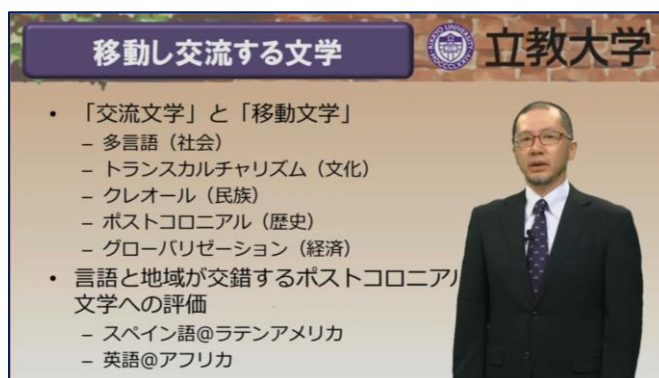


図 1 : 交流文学研究 講座動画イメージ

- ② 講座名 : ブラックホール入門
 講師 : 理学部 物理学科 教授 北本俊二
 アシスタント : 無し
 開講期間 : 2015年1月15日(木) ~ 2015年3月26日(木)
 反転授業 : 無し



図 2 : ブラックホール入門 講座動画イメージ

(2). アンケート集計

受講者の WEB アンケート結果の集計は以下の通りである。アンケートへの回答は任意のため、各回答で合計数の差が出ている。

① 年齢分布

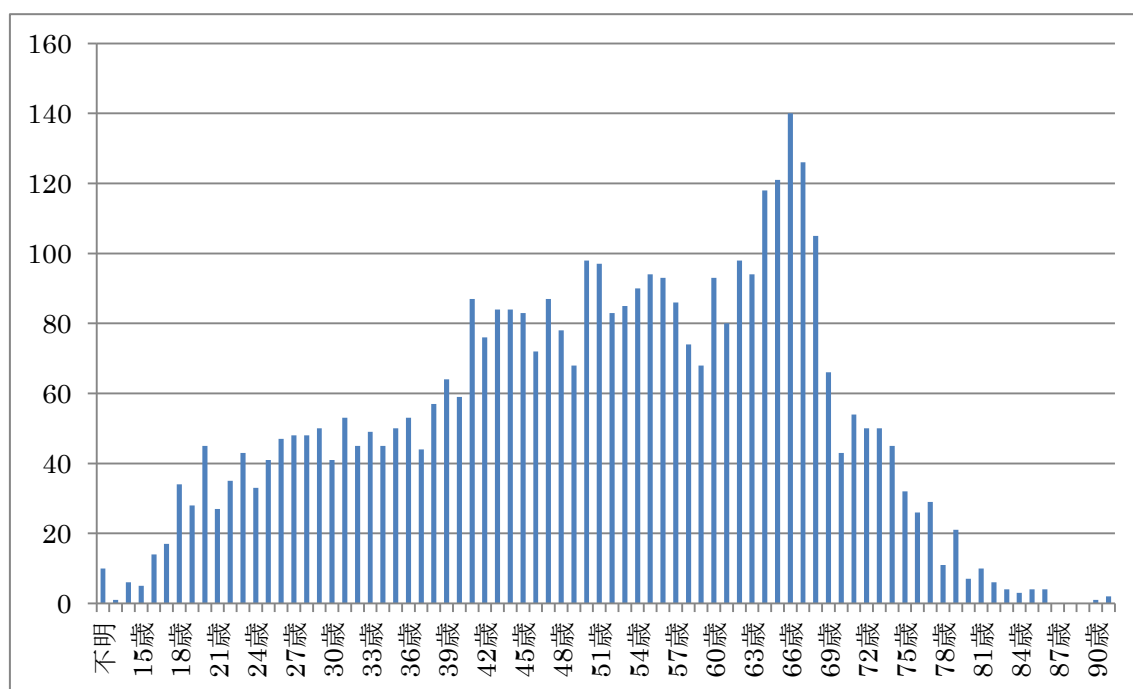


図 3 : 受講者の年齢分布 (受講前アンケート結果)

② 職業

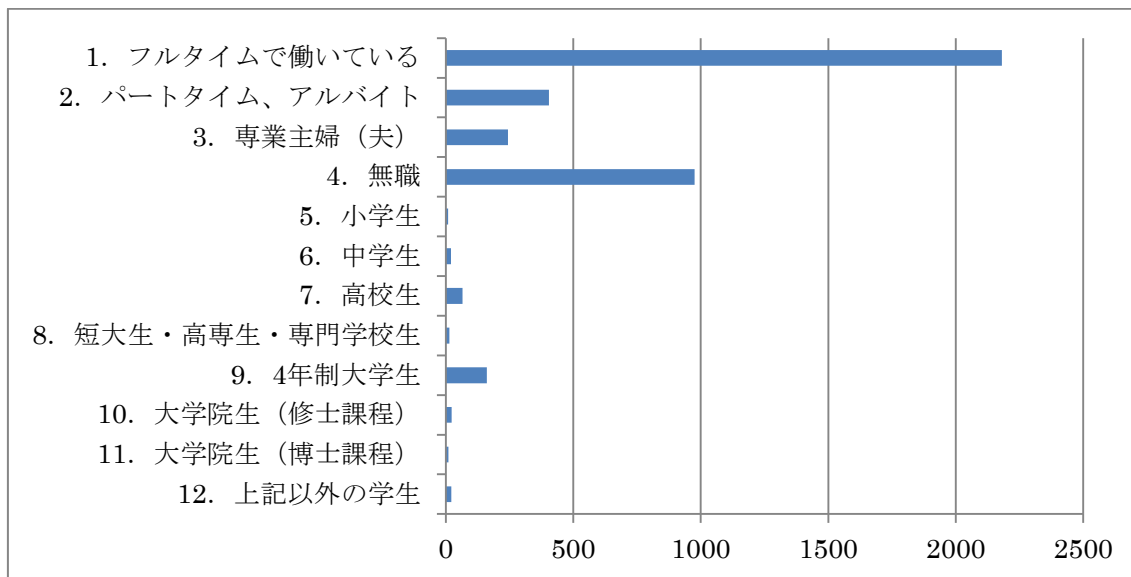


図 4：受講者の職業（受講前アンケート結果）

③ 本学との関係

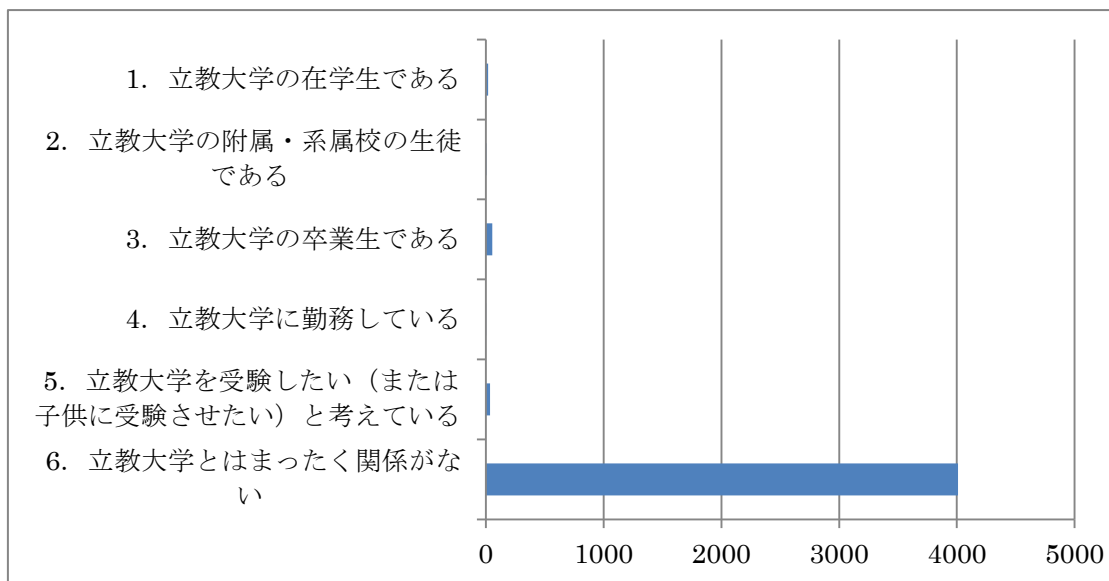


図 5：受講者の立教大学との関係（受講前アンケート結果）

④ 受講満足度

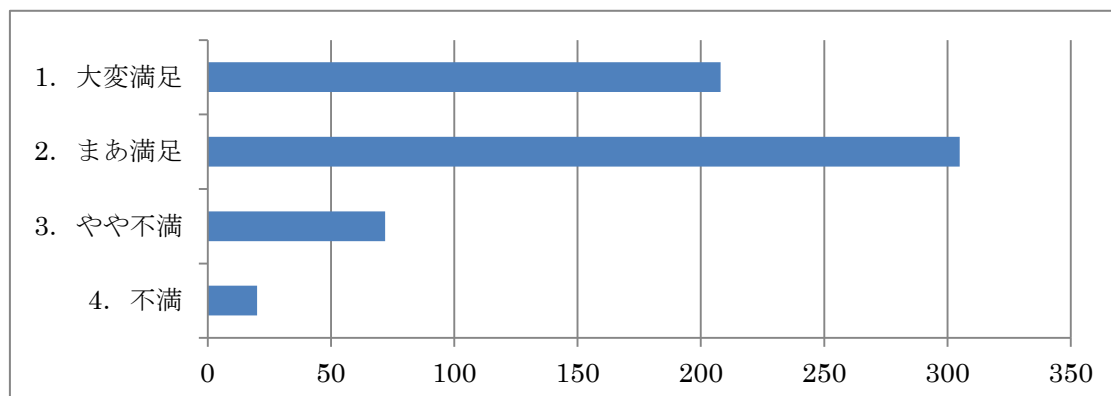


図 6：受講者の受講満足度（受講後アンケート結果）

3. 2014 年度のまとめ

本学として初の試みであったが、講師の方々のご協力のもと無事講座を開講し、修了者を出すことができた。

JMOOC は新聞やテレビ等のメディアでも多く取り上げられ、アンケート結果から講座受講者も本学とは関係がない人が多い（図 5）ことを考えると、JMOOC に出展することで本学の広報につながると考えられる。また、受講者の年齢の幅は広く、40 代以上の社会人が比較的多いことがわかる（図 3、4）。受講者数に占める修了者数の割合は約 14% であり、アンケートから受講後の満足度は高いという結果が得られた（図 6）。

受講者の傾向は講座の分野によっても変化することから、今後の開講講座も含め注意深く分析する必要がある。また、講師には資料作成（著作権の処理含む）や収録時に負担がかかるため、事前の調整や収録方法、収録場所の確保が課題である。